

# ご存知 ですか?

# こだいらの農産物



## 地産地消を進めます

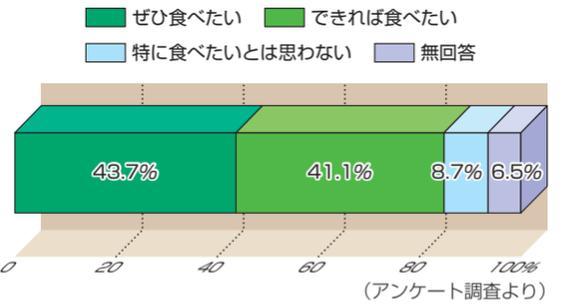


こだいらの農産物は、トマト・ほうれんそう・とうもろこし・キャベツ・さといもなどの野菜が多く、約60種類ほど生産されています。果物では梨が最も多く、ブルーベリー・ぶどう・柿・栗なども生産されています。また、パンジーなどの花壇苗や、シクラメンなどの鉢物、多種多様な植木の生産がさかんにおこなわれています。

その土地でとれたものをその土地で消費するのが地産地消です。アンケート調査でも、多くの市民が市内産の農産物を食べたいと望んでいます。

地産地消の考え方は食育の観点からも注目されており、市では小学校での学童農園による農業体験や、地元農産物の学校給食への利用を進めています。

8割以上の市民が市内産の農産物を望んでいます



## 旬の農産物を直売所で



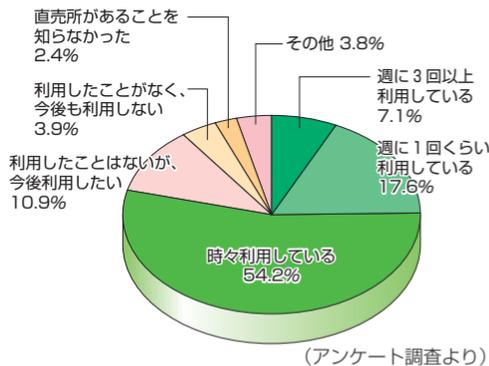
市内には170を超える農産物の直売所があり、春夏秋冬、その季節ならではの新鮮な農産物が並びます。アンケート調査の結果をみても直売所が市民に定着していることがわかります。

「生産者の顔が見える」、「消費者の声が届く」のが直売のメリット。朝取りの農産物はその日のうちに購入できます。また、野菜やいちごなどを直接畑から収穫できる「うね売り」や、畑で好きな花を好きなだけ摘み取れる農園も人気を呼んでいます。



「うね売り」や、畑で好きな花を好きなだけ摘み取れる農園も人気を呼んでいます。

8割近くの市民が直売所を利用しています



## 市内産農産物が集まる共同直売所

JA東京むさし小平経済センター  
(小川町2-1827)

営業時間  
月曜から土曜：午前9時～午後4時  
日曜：午前9時～正午(祝日休み)



## 贈答品としても(特産品)



梨



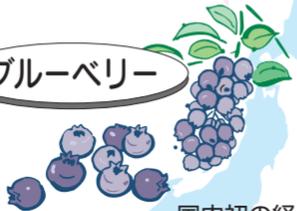
都内第2位の生産量を誇ります。新鮮で、みずみずしいものをどうぞ。

うど



日本伝統の高級野菜です。最近ではヘルシーな野菜としても注目されています。

ブルーベリー



国内初の経済栽培地です。摘み取りができる農園もあります。

## ふれあい農業イベント

### こもれびの足湯

市内産農産物即売会  
6月24日(日)  
午前9時30分～



### こだいら農業ふれあいツアー

7月7日(土) 事前申し込みが必要です。  
※詳しくは6月20日の市報(通常号・4面)をご覧ください。

## 問合せ

市民生活部  
産業振興課

☎042(346)9533

## こだいらの農産物のブランド化を推進します



### 【畑からまっしぐら】

平成5年度に、公募で選ばれたこだいら農業シンボルマークです。

こだいらの農業の象徴として、出荷用の箱、野菜を束ねるテープ、販売袋、のぼり旗などに登場してPRにひと役買っています。



### 【ブルーベリー栽培発祥の地 小平市】

小平市は、国内でのブルーベリー農園発祥の地で、近年ブルーベリーを栽培する農家が増えています。

小平産のブルーベリーをより知って食べてもらい、親しみを持ってもらおうという趣旨で、武蔵野美術大学の協力を得て、シンボルデザインを作成しました。小平産ブルーベリーのPRとともに、小平市の知名度アップの役割も担っています。